

組合側ニ於テハ今回ハ休職工場閉鎖ニ伴フ職工解  
雇問題ニ対シテハ徹底的ニ反対スル事トナリ七月  
二十五日左ノ通り争議圖ノ編成ヲ為シ全職工ノ  
怠業ヲ繼續シ別記ノ如ク印刷物ヲ一般職工ニ配布  
シ結束ニ努メ一方解雇申請ヲ受ケタル職工六〇  
名ハ二十五日ヨリ休職工場ヲ閉鎖サレタルメテ會  
社ニ対シ争議解決迄休職新トシテ工場ヲ使用  
方承認セラレタント申出ラタルニ會社ハ之ヲ拒絶セ  
リ然レニ職工等ハ依然同工場ヲ休職新トシテ集  
合シ居タルニ格別ノ行動無シ

争議圖  
財政係 警備係 新支宣傳係 食料係

大坂

### 感謝の辭に替へて

東京瓦斯電氣工業株式會社争議報告

九月十八日紡績部の閉鎖に其端を發した、吾が京濱労働技友會の争議に對して常に  
絶大なる後援を給わり、幸ひ十一月二日解決の運びに至り勢大なる入場式を以つて、  
切終了し今其の大様を報告し御禮の辭に替へんとする者である。

九月十八日會社の不當なる五十七名の職首に對攻した、全組合員八百五十名は復職  
を會社に嘆願すべく決議し交渉を開始したが、言下に會社は是を拒絶した、従業員は  
此の會社の態度に憤激して社内は遂に全員怠業の状態に陥り、極度に堅き結束振りを  
示した

此間會社は左の案を示した

#### 第一の會社案

- 一、解雇手當實収十四日分
- 一、勤続手當一ヶ年廿日分

#### 第二の會社案

第一案に金千二百圓を加へたるものであつたが考慮に値するものではない

茲に及んで會社は威壓的に就業を命じたが全員は一人として是を容るゝ者なく一絲  
亂れざる歩調を以つて對攻したが會社は九月廿八日遂に交渉委員、神田、關根、田名  
部の諸氏を始め廿一名に對して、取締上と云ふ理由を以つて出勤停止を發したが全員  
の意氣は益々昂ぶるのみであつた、血迷つた會社は更に十月四日第二回の出勤停止を  
小川、高橋、鈴木、津田の四氏の外十一名に通告した、全員は兼ねて悟したる事とて  
結束は微動だにしない、斯くて十月六日擴大中央委員會を開催中央部の改選を行ひ、  
高橋、關根、小泉外十二名を選出し、八月は更に擴大中央委員會を開催した

二、會社ハ  
會社ハ全  
ノ怠業ヲ  
ニ於テハ  
工場長ハ  
ヲ共ヘ